



# イラク復興支援群活動報告

17.12.4

イラク復興支援群

## 報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

TRM = 下宿の件 (12/1)  
PRT = 1/16 マタリス

→ 2006年 第10号 → 第11号の件 (12/1)  
・ 交際のコントロール

PRT : 156名 1/16

全 報 (12月4日)

○ サマーワ主力

- 人員・武器・装具、異状なし
- 警備態勢：[REDACTED]
- 人道復興支援関連

◆ 医療

－外務省等との調整

◆ 学校等の公共施設の復旧・整備

・学校の改修：

－サマーワ工業高校完成点検（サマーワ）

別紙第1「サマーワ工業高校完成点検」

－10カ所（サマーワ×7、ワルカ×1、ヒラール、ヒドル）での役務作業

・道路の改修：

－2カ所（ルメイサ、スウェイル）での役務作業

・PHCの改修：

－14カ所（サマーワ×5、ヒドル×2、マジット×1、ダラージ、ルメイサ×2、ワルカ×3）での役務作業

・給水関連施設の改修：

－3カ所（サマーワ、ワルカ、ルメイサ）での役務作業

・青年・女性・福祉関連施設の改修：

－アル・アメル、アル・ラジャ養護施設の竣工式（ルメイサ）

別紙第2「アル・アメル、アル・ラジャ養護施設竣工式」

－4カ所（サマーワ×3、ルメイサ）での役務作業

・清掃事業関連施設の改修：

－1カ所（サマーワ）での役務作業

・燃料関連施設の改修：

－1カ所（サマーワ）での役務作業

全 報 (12月4日)

○ 宿营地関連施設の整備

・宿营地敷水

・ゴミ回収

・尿尿汲み取り

・コンクリートブロック、土嚢作成

・運河朱取水口浮橋設置作業

・側溝整備

・警衛所耐震化工事

・出島地区施設再配置作業

・宿营地内防疫（0ゲート～第1・2・3ゲート～トイレ及び仮眠所～宿营地内トイレ及びゴミ焼却所）

○ 12月4日現在の雇用人員

計787名（累計：357,079名） 細部別表「雇用者」参照

○ その他（特記事項）

・ルメイサ、サドル派事務所付近における抗議行動等について：別途報告のとおり

・対外発信関連：12月号原稿調整（宿营地）

・供与RO浄水機による配水なし（RO付帯設備施工のため当分の間、配水休止）

12月4日まで計約50,959t（約11,168,663人分）配水（4.5リットル/人・日換算）

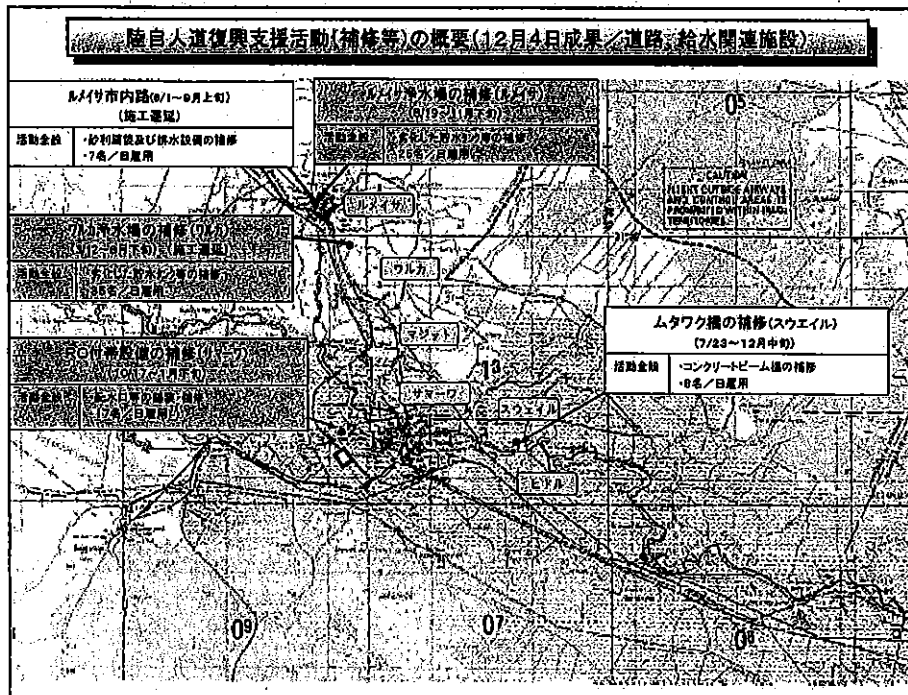
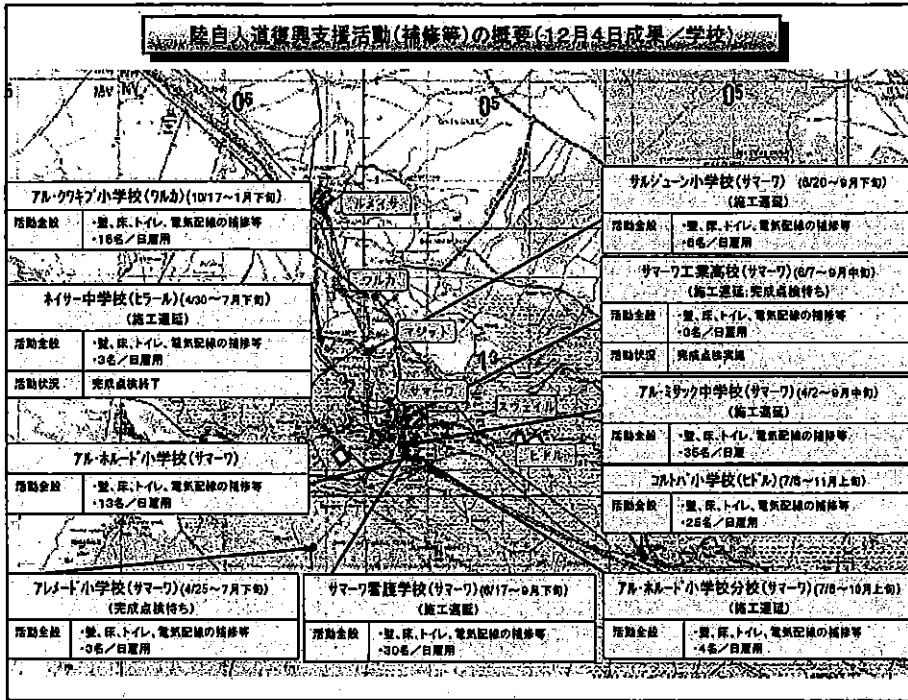
**全 員 (12月4日)**

- ◎ クウェート分遣班
  - ・郵便業務・業者調整
  - ・資材輸送(特殊通信器材関連部品)
  - ・CFLCC調整
- ◎ バクダッドLO
  - ・情報収集及び情報資料の送付等
- ◎ バスラLO
  - ・情報要求対応及び定例情報収集
  - ・定例会議への参加
  - ・空路輸送調整
- ◎ スミッティLO
  - ・情報要求対応等
  - ・各種業務調整等
  - ・各種ミーティング等
- ◎ クウェート大使館LO
  - ・連絡調整
  - ・情報収集/

別表

**雇 用 者 (12月4日)**

宿営地外役務	医療	296	607	787
	学校修復	134		
	道路補修	15		
	青年・スポーツ関連	64		
	清掃事業関連	8		
	給水関連	77		
	燃料	13	180	
宿営地内役務	通訳	61		
	警備	40		
	給仕	1		
	ゴミ処理	3		
	し尿処理	3		
	清掃	3		
	エンジニア	2		
	タクシー	26		
	床屋	2		
	弁護士	2		
	アドバイザー	1		
	電気工等	3		
	調査員	8		
	耐弾性強化施設補修	20		
コンテナメンテナンス	5			





上段:増人員数 下段:減人員数		人員現況																				備考 (備考) 増減の理由及び 増減人員の氏名
区分	増減人員	サマーワ		クウェート		バックダット		ハイスラ		キング・アジサイ		ドバイ		海外		国内		計	増	減		
		増	減	増	減	増	減	増	減	増	減	増	減	増	減	増	減					
第8次隊員	481	481	0	478	-	-	-	0	2	-	-	-	-	-	-	-	-	481	-	-	-	増減理由 100%増
第9次隊員	10	10	0	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	増減理由 100%増
第10次隊員	100	74	0	74	26	22	0	0	4	4	1	0	1	-	-	-	-	100	-	-	-	増減理由 100%増 100%減
合計	600	405	0	405	26	22	0	0	4	4	1	0	1	-	-	-	-	600	-	-	-	

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む  
本日のTV電話使用者数:2名、FOMA使用者数:26名(第8次隊TV電話合計:61名、FOMA合計:901名)

		車 両															計				
区分	車種	小	中	救	軽	高	W	業	マイ	施	水	燃	冷	セ	大	特		浄	重	溶	修
		型	型	急	甲	機	A	4	ク	設	タン	料	凍	ミ	型	大	水	レ	接	理	
10	サマーワ	13	10	2	49	19	6		1	22	7	5	4	4	29	9	4	2	1	2	189
	シャイバ																				
	バスラ				1																1
	タリル																				
	バックダット																				
	計	13	10	2	49	20	6		1	22	7	5	4	4	29	9	4	2	1	2	190
KW	キングVA	1			3	1	1	2	1						8						17
	キングアジサイ																				
	計	1			3	1	1	2	1						8						17
総 計		14	10	2	52	21	7	2	2	22	7	5	4	4	37	9	4	2	1	2	207

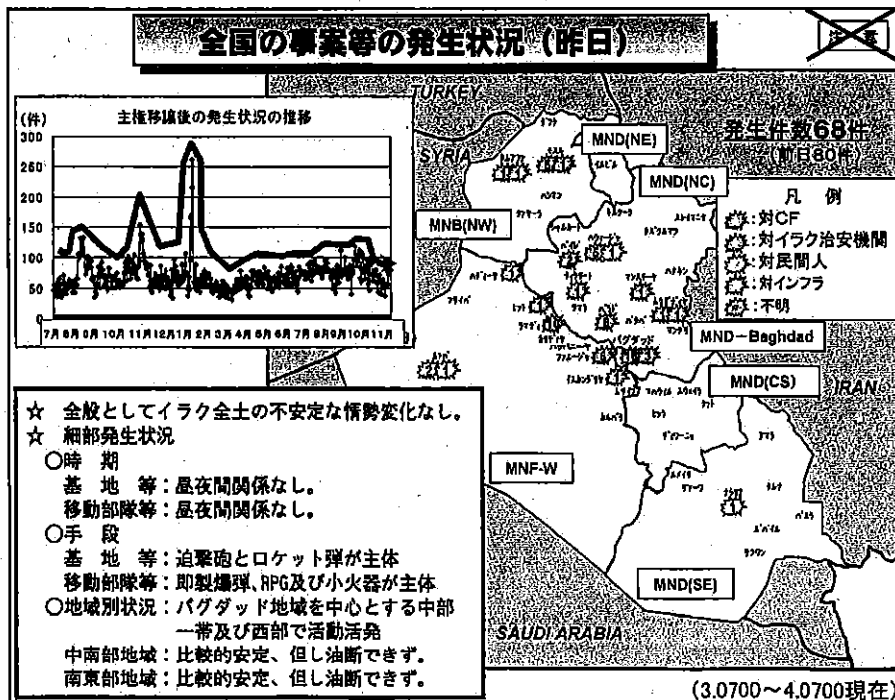
### 装備の現況（武器）

		武器						
		拳銃	89小銃	64小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	84RR	番号拳銃
I Q	サマーフ							
	シャイバ							
	バズラ							
	タリル							
	バクダット							
	計							
K W	キャンプVA							
	キャンプアリアジャン							
	計							
総計								

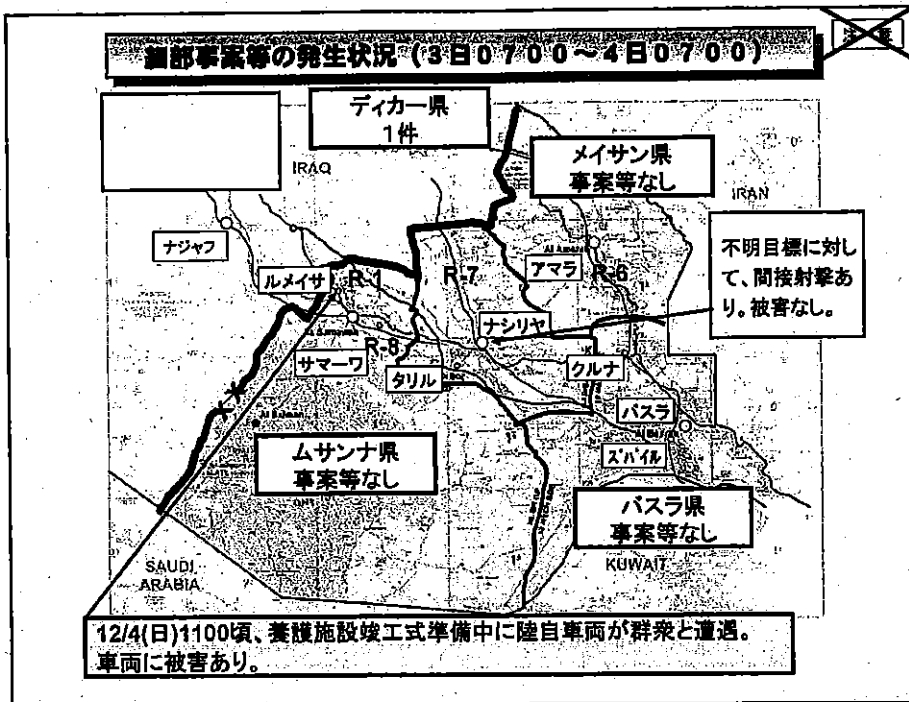
### 装備品等の可動・不可動の状況①

項目	総数	可動	不可動	未使用	不可動の内容	備考
車両	207	204	2	1	HMV ×1 プレーキバイブ亀裂 冷蔵車 ×1 コンデンサーエンジン不良	未使用:WAPC ×1 (CV) 部品待 ×2
酷暑用冷凍冷蔵庫	8	5	0	3		
コンテナスキャナー	2	1	1	0	定期整備 ×1	後送中 ×1 (クウェート)
エアコン	657	634	0	23		
発動発電機(6kw)	95	38	21	38	レギュレータ等不良 ×17 オイルセンサー不良 ×4	部品待 ×21
発動発電機(25kw)	67	44	12	11	ガバナ等不良 ×10 回転ケーブル不良 ×1 ノズル不良 ×1	部品待 ×12
発動発電機(60kw)	59	47	2	10	燃料噴射ポンプ ×2	部品待 ×2
発動発電機(180kw)	17	15	1	1	ガスケット損傷 ×1	部品待 ×1
ロードローラ	1	1	0	0		
遠距離大量送水システム	5	4	1	0	定期整備 ×1	後送中 ×1 (オランダ)

装備品等の可動・不可動の状況②								
項目		総数	可動	不可動	未使用	不可動の内容	備考	
浄水セット	官品	4	4	0	0			
	民生	2	2	0	0			
遠距離監視装置	昼用							
	夜用							
近距離監視装置								
近距離暗視装置(V7)								
微光暗視装置(V3)								
空中監視装置								







**金曜礼拝 (12. 2) について-1**

【アル・グレイブモスク】(サマーフ、サドル派)  
 ○説法者:ギジ師(約400名)  
 ○説法内容  
 「サドル師の父の死に関して」と題する説法  
 ●サドル師の父は宗教家であり、腐敗と闘い、サダム・フセインに向かって立ち上がった。  
 ●現在、サドル師は宗教指導者達に挑戦しており、父と同じことをしている。

【アル・マフデイモスク】(サマーフ、サドル派)  
 ○説法者:ヘルシー師(約150名)  
 ○説法内容  
 ●昨日、サドル師は、「イラク国民に対し選挙に行くようアドバイスした。また、全てのイラク国民は兄弟のように団結し、協力しなければならない。」と発言した。  
 (注:1日、アル・イラクヤTVにおいて、サドル師が「イラクの全国民が国民議会選挙に参加することを希望する。」と発言したとの放送がなされたとの情報あり)

【アル・メディーナモスク】(ルメイサ、サドル派)  
 ○説法者:アドナン師(約2000名)  
 ○説法内容  
 ●我々はイラクの将来をよくするため、リスト番号555を支持しなければならない。  
 ●もし、選挙で勝利すれば多国籍軍をイラクから撤退させる。

## 金曜礼拝 (12.2) について-2



【マムラハモスク】(サマーワ郊外、サドル派)

○説法者:ホセイン師(約90名)

○説法内容

- サドル師の父はすばらしい宗教家であった。また、イラクに金曜礼拝を作った。
- 我々は金曜礼拝を続けていかなければならない。
- 彼は以前、サダム及びバース党と闘いながら金曜礼拝を作った。

【アル・サマーワモスク】(サマーワ、ハイリ派(サドル派穏健派))

○説法者:アワデイ師(約300名)

○説法内容

- サダムフセインの裁判は茶番である。サダムフセインが我々を裁判している。イラク政府はこの裁判を中止し、もっと真面目に取り組まなければならない。
- イラク国民は以前から政府によって苦しめられていた。今、選挙により以前とは違う政府を作るチャンスである。
- シスターニ師などマルジャイーア(宗教高位指導者)は現在の政府を支援するよう呼びかけている。我々は、政府に給水、給電状況の改善、テロ及び腐敗との戦いを要望しよう。
- 我々は占領軍に「1920年の革命を憶えているし、再び起こすことができる」と伝えたい。

【アル・ジャシールモスク】(サマーワ、スンニ派)

○説法者:サミール師(約50名)

○説法内容

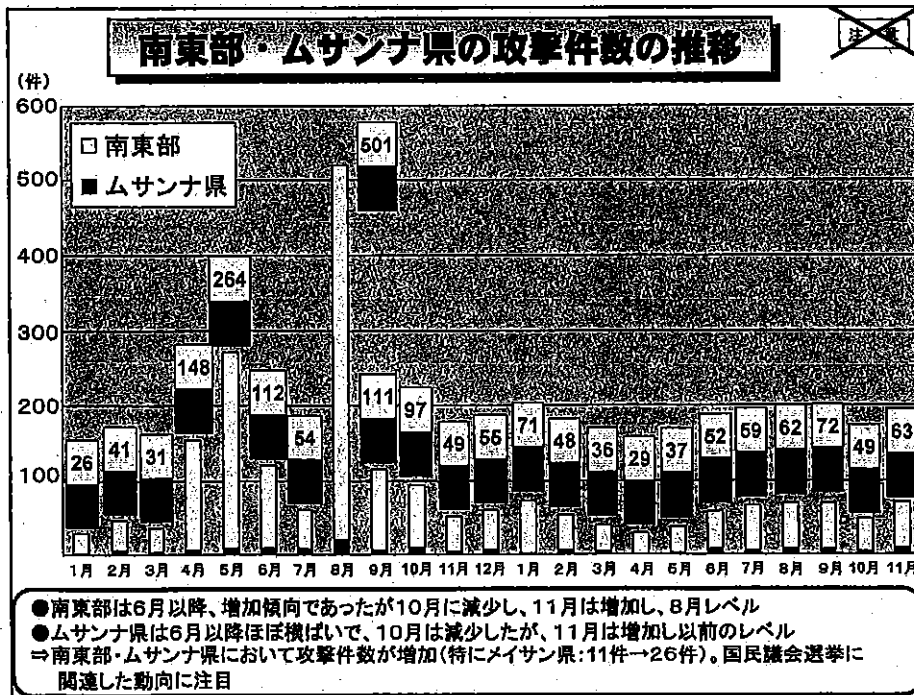
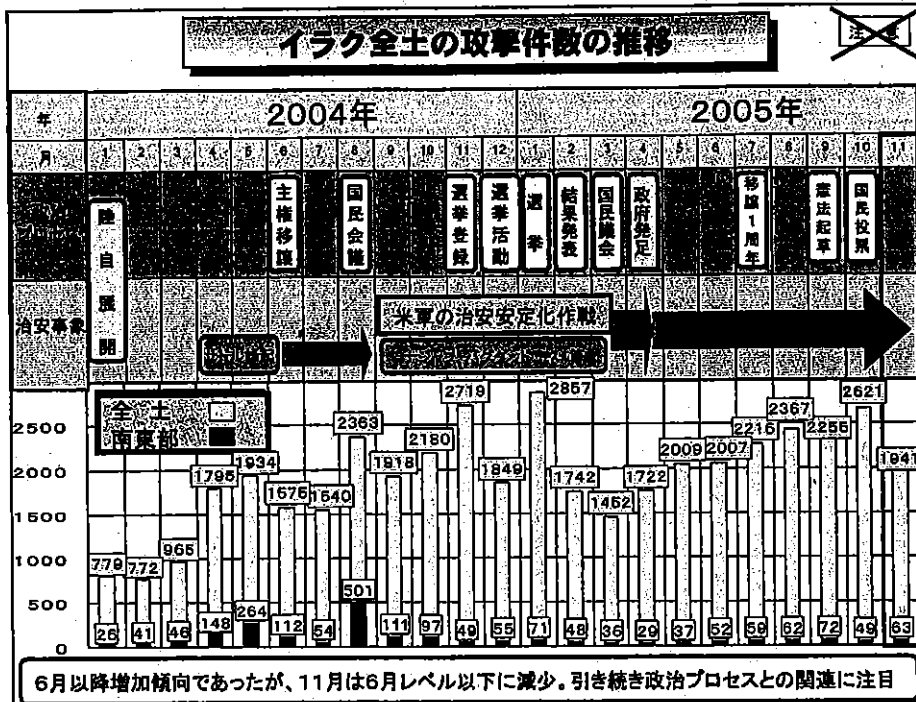
イスラムの指導者と歴史について。

## 金曜礼拝 (12.2) について-3



【解 説】

- 今次礼拝でも、選挙に関連した発言が多くなされた。先週の礼拝においてギン師が金曜礼拝への参加を呼びかけていることや最近、サドル派が市内で金曜礼拝参加を勧めるビラを配布しているとの情報(2日)から、金曜礼拝を通じた選挙活動が行なわれているものと考えられる。
- サドル師の父であるサーディク、サドル師を賞賛する発言が多く見られた。これは同師の命日(注:本年は12月16日とされている。)に近いことによると思われる。サドル師をサダムフセインやバース党と戦った偉大な父と重ね合わせるにより、偉大さや存在感をアピールしようとしているものと考えられる。  
また、ギン師の「サドル師は宗教指導者達に挑戦している」との発言は、サドル師の独自性を強調しているものとも考えられるが、その真意は不明である。
- アル・マフディモスクにおける「サドル師がイラク国民に対し選挙に行くようアドバイスした」とする発言については、同様の発言がTV報道されたとの情報もことから、サドル師の選挙に対する姿勢は、肯定的であり、選挙参加を求めるものであると考えられる。
- アル・メディナモスクにおいて「もし、選挙で勝利すれば多国軍をイラクから撤退させる」との発言がなされた。国民議会選挙まではサドル師の暴力抑制指示は厳格されるものと考えられるが、多国軍の撤退はサドル派の一貫した主張であり、選挙に負ければサドル派民兵は多国軍を攻撃するとの情報もことから、選挙結果の如何にかかわらず選挙後は、サドル派民兵が暴力的活動を行なう可能性もある。



南東部・ムサンナ県における発生事案内容等(11月) -1

ムサンナ県	日	場所	内容
	5日	サマーフ	資糧手榴弾
	7日	サマーフ	サマーフ宿営地・キャンプ・スミッティに対する曲射攻撃
	8日	北-西 35km	部族間抗争アジープ族 vs ベニシラマ族
	15日	サマーフ	MNF/TD-3 (英、IP)への小火器射撃
	17日	サマーフ	憲軍パトロールが幹路道沿いで対車両地雷発見
	21日	サマーフ	MNF/TD-3 (英、IP)への小火器射撃(昼間)
	23日	サマーフ	キャンプ・スミッティへのロケット攻撃
	26日	サウジ国境	MNF/TD-3への小火器射撃
30日	サマーフ	部族抗争 7A-7Vア族とIP間で奪ち合い	

ムサンナ県のデモ件数

9月	10月	11月	累計
2	0	0	0

南東部各県の発生件数(8月~11月) (凡例)IED:即製爆弾、IDF:間接射撃

県名	8月		9月	10月		11月	累計			
	IDF	IED		IDF	IED		IDF	IED		
ムサンナ県	0	0	7	0	0	6	0	3	2	8
ディカー県	0	0	1	2	0	9	1	4	2	6
バスラ県	0	4	26	12	13	45	8	27	3	24
メイサン県	9	2	31	4	0	12	5	11	8	26

南東部・ムサンナ県における発生事案内容等(11月) -2

【評価】

- 全土の攻撃件数は先月に比べ減少。現在イラク多国籍軍団の脅威認識は、南部地域は低、他地域については中西部ラマディが顕著以外は中としており、多国籍軍による治安安定化作戦が成果をあげていると考えられるが、武装勢力が選挙に向け、攻撃を準備している可能性もある。
- 南東部の攻撃件数は先月に比べ増加している。メイサン県等における多国籍師団(南東部)の武装勢力拘束作戦が一定の効果を挙げているものの、拘束に対する反発から攻撃が増加していると考えられる。サドル派民兵指揮官の大多数は、サドル師の抑制指示に従っているとみられるが、選挙に向け、指示に従わないグループが多国籍軍を攻撃する可能性は存続すると考えられる。
- ムサンナ県における曲射攻撃については、7日にサマーフ宿営地及びキャンプ・スミッティーに対して、23日にキャンプ・スミッティーに対して行われている。これらの実行犯及び関連性については不明であるが、「はねかえり」等が反多国籍軍行動として散発的に曲射攻撃を行う可能性もある。
- 21日の英軍巡察に対する小火器射撃は昼間に行なわれており、従来、攻撃要領については所謂「ヒットエンドラン」方式が離脱の容易性から夜間に実施される公算が大きいと考えられてきたが、サドル派支配地域では昼間でも離脱容易である可能性があり、この地域での活動には十分注意する必要がある。
- ムサンナ県において大規模デモは8月に2件発生したが、以降は発生していない。しかしながら、デモにまで発展しないながらも雇用を求める群衆の発生が連続したほか、20日頃より給電時間が10時間未満の状態が継続し、市内で不満が発生しているとの情報がある。また、昨年末は暖房用の灯油不足からデモが発生したとの情報もあることから、デモ発生の可能性は依然存続していると考えられる。

### MSR・ASRにおける事象の発生状況（11月）

(MSRタンバ及びASRジャクソンにおける事象の概要)

日時	場所	概要
1日0220	ASRジャクソン上 タリルAB北西20Km	パトロールに対する小火器射撃が応射。に被害なし。
21日1610	MSRタンバ上 タリルAB北3Km	車中からコンボイを撮影する等不審な行動民間コンボイに対しが2発射撃、1発が命中し、イラク民間人1人が負傷。
21日2005	MSRタンバ上シャイ バ兵站基地西26Km	路側帯停止中の民間車両に対しコンボイが2発射撃。
22日1040	ASRジャクソン上 タリルAB北西20Km	シダーIIへ移動中のコンボイに対し民間車両から小火器射撃。車両に軽度の損傷、人員に被害なし。
22日1143	ASRジャクソン上 ヒドル市街東12Km	イラク民間タクシーに対しコンボイが射撃。タクシー運転手が負傷。
30日2050	MSRタンバ上 タリルAB北西12Km	タリルABからキャンプ・スミッティへ帰隊中のTFMに対し、コンボイが12.7mm×5発の射撃(TFM車両はIRストロボ等所要の夜間処置を実施)。

#### 【評価】

- 前月に比し、MSRタンバ、ASRジャクソン上における事象が増加。
- 11月は上記経路上の事象すべてにが関与しており、の存在には要注意。特にMSRタンバでは注意していてもブルーオンブルーに巻き込まれる可能性が高いとの情報もあることから、所要の表示、十分な車間距離の上、さらに警戒が必要。

### 12月の主要事象と治安上の焦点

#### 【12月の主要行事】

- 15日 国民議会選挙
- 16日 サドル師の父サーディク・サドルの命日(シーア派特にサドル派)
- 20日 多国籍軍(南東部)師団長交代
- 31日 新政府樹立(基本法上の期限→2月以降に遅延する可能性あり)

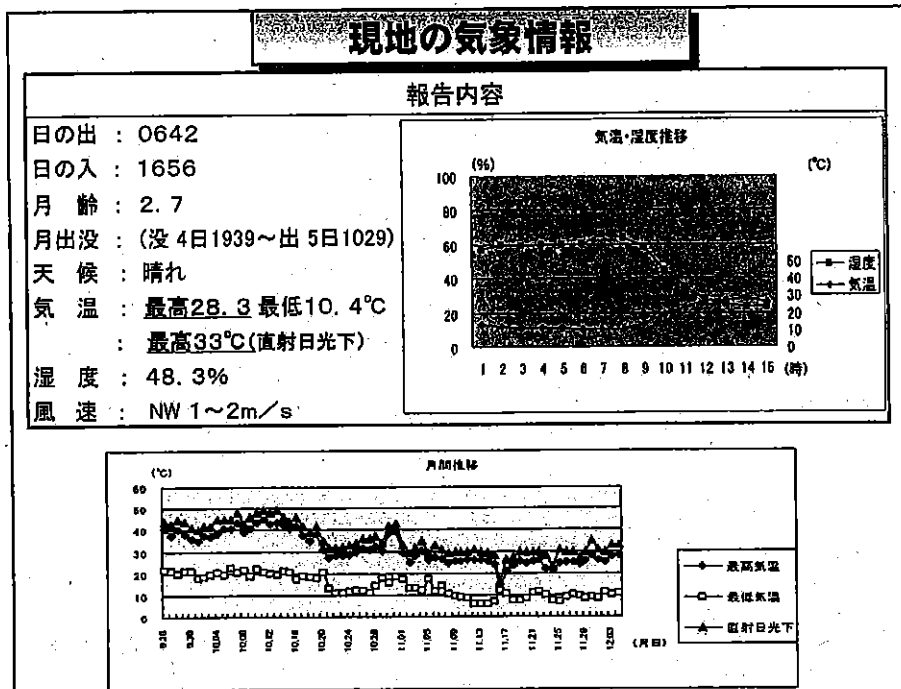
#### ○11月の治安上の焦点

- 即製爆弾攻撃  
⇒バスラ等の状況、サドル派の動向、脅威情報等
- 曲射攻撃  
⇒サドル派の動向、部族の動向、アマラ等の状況、脅威情報等
- 小火器・RPG攻撃  
⇒サドル派の動向、部族の動向、脅威情報、昼間の攻撃等
- 市内の治安(過激デモの兆候)  
⇒県の政治情勢、サドル派の動向、燃料、電気等の状況と住民の不満、部族の動向等
- 政治プロセス関連  
⇒国民議会選挙関連動向、サドル派の動向等特に選挙に向けたはねつかりの動向

イラク全土の全般情勢評価 (12.4)		
(11月28日の報告以降変化なし)		
区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バグダッド中心に、中北・西部において多国籍軍及びイラク治安部隊に対する攻撃が継続</li> <li>●新政権発足後も攻撃件数は依然高い水準を維持</li> <li>●政治プロセスに関連し、テロ、衝突等が発生する可能性</li> <li>●南東部でサドル派が活動を活発化させている可能性</li> </ul>	8/26追加 8/8追加
スンニ派過激派	<ul style="list-style-type: none"> <li>●当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安機関・移行政府)を継続(急激な過激化への兆候はなし)</li> <li>●アンサル・スンナとザルカウィGpが共闘の可能性</li> <li>●ザルカウィ関連Gpの活動が活発化</li> <li>●シーア・スンニ宗派間対立を企図したテロ発生の可能性</li> </ul>	9/15追加 9/1追加
FRE	●「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける	
国際テロリスト	●暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民心の掌握(ソフト路線)継続。一方で民兵再構築実施</li> <li>●サドル師がSCIRI代表ハキーム師と対談する等、選挙に向けた動きを活発化させている可能性</li> <li>●選挙に向け、暴力による反多国籍軍闘争を抑えるため、組織に対する統制を強化する可能性</li> </ul>	11/28追加
特異事項	●宗教行事等多数の人が集まる場を狙ったテロ(パニック誘引)	9/1追加

イラク南東部の全般情勢評価 (12.4)		
(11月28日の報告以降変化なし)		
区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>●比較的安定→アマラ、バスラで多国籍軍・イラク治安部隊等への攻撃発生</li> <li>●メイサン県に存在すると考えられていた即製爆弾攻撃ネットワークがバスラ県に活動を拡大した可能性</li> <li>●バスラの不安定な治安情勢が継続する可能性</li> </ul>	8/17追加 9/27追加 9/20追加
スンニ過激派 国際テロリスト FRE	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多国籍軍が駐留する限り攻撃は継続</li> <li>●バスラ・メイサン県で即製爆弾増加傾向</li> </ul>	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サドル師の指示に従わない一部勢力の存在</li> <li>●選挙に向け、暴力による反多国籍軍闘争を抑えるため、組織に対する統制を強化する可能性</li> </ul>	8/28追加 11/28追加
MSR・ASR	<ul style="list-style-type: none"> <li>●即製爆弾・車両爆弾、友軍相撃、ロードスパイク、子供飛出し、カージャックがMSRタンパ、ASRサークル上で発生</li> <li>●移動中のコンボイに対する車両爆弾の可能性</li> </ul>	7/23追加 7/22追加
タリルAB	●空港への曲射撃及び離発着航空機に対する攻撃に警戒	9/30追加
トレンド	南東部における電波指令式即製爆弾が増加	

ムサンナ県の全般情勢評価 (12.4)		
(12月1日の報告以降変化なし)		
区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>●比較的安定、しかしながら油断は出来ず</li> <li>●知事、前評議会議長の動向等、政治情勢は依然流動的</li> <li>●イラク治安部隊の治安維持能力が向上しつつある。</li> </ul>	9/30修正 10/9追加
スンニ過激派 国際テロリスト	●スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、県外からの流入、他地域での活動のための存在あり	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サドル師の統制に従わない一部のはねっかえりが選挙に向け、暴力的活動を活発化させる可能性</li> <li>●サドル派民兵のはねっかえりが宿営地に対する曲射攻撃などの反多国籍軍行動をとる可能性</li> <li>●サマーワ市街において昼間に英軍巡察に対する小火器射撃が発生</li> </ul>	12/1追加 11/8追加 11/22追加
部族関連	宿営地警備等の雇用の増大を企図する一部の部族関係者が存在するとの情報	7/7追加
デモ関連	●ムサンナ県の政治情勢は依然流動的であること、雇用問題、燃料不足等により民衆の不満が高まる可能性があることから、デモ発生の可能性は依然存続。	11/1修正



12月5日(月)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J1	隊長の行動	0630	総隊長報告	
		0650		
		0730	群朝礼	
		0740		
		0745	作戦会議	
		0800		
		0810	J任種訓練等について(印指)	
		0820		
		0900	J8行動指導及び行動証明印決	
		0910		
		1000	J7行動指導及び行動証明印決	
		1010		
		1010	宿営地内動研	
		1435	活動命令(案)印決	
1445				
1535	デイリーミーティング			
1605				
J2	業務支援隊長の行動	0715	隊朝礼	
		0730		
		0740	群朝礼	
		0745		
		0745	作戦会議	
		0800		
		0800	宿営地内動研	
		1535	デイリーミーティング	
		1605		
		1625	隊デイリーミーティング	
J7	施設支援(知事公舎前広場完成点検)	別示	知事公舎前広場 着(サマーフ) 知事公舎前広場 舞(サマーフ) 宿営地 着	LAV(O)×6

12月5日(月)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J8	衛生支援(サマーフ母子病院技術指導)	別示	宿営地 発 サマーフ母子病院 着(サマーフ) サマーフ母子病院 発(サマーフ)	LAV(O)×3 HMV(O)×1
Jx	機材点検(通信電子機材巡回点検)	1800 1730	宿営地 着 バックアップ 発 バスラ 着	英軍C130
J201	GRF			
J202	GRF(予備)			
S6☆	役割要員配置	0530~ 1130~ 1930~	宿営地-運河警戒位置~宿営地	
S11☆	警衛		警衛	
S12☆	浄水活動(運河)	0730~0900	大量送水システム点検・巡回	LAV(HS)×1



12月5日(月)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
S13a	宿営地内工事、作業	0800~1200	宿営地敷水	
S13b		0800~1530	ゴミ回収	
S13c		0800~1530	尿尿汲み取り	
S13d		0800~1530	冷凍コンテナメンテナンス	
S13e		0800~1530	コンクリートブロック作成	
S13f		0800~1530	側溝整備	ダンプ(E)×1 バケツ(E)×1 小型バケツ(E)×1
S13g		0800~1530	警衛所耐震化工事	中型(E)×1 運搬車(E)×1 大型(E)×1
S13h		0800~1530	出島地区施設再配置作業	
S15	副主力の行動	0730	群朝礼	
		0740		
		0740 1530	宿営地内活動	
S16	空中監視活動	5日 0730 ~ 6日 0730	空中監視活動	

12月5日(月)の活動予定

クウェート分遣組	バグダッドLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> <li>郵便業務</li> <li>弾薬輸送準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡調整</li> <li>情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報要求対応</li> <li>定例情報収集</li> <li>定例会議への出席</li> <li>空路輸送調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報要求対応</li> <li>各種業務調整</li> <li>ミーティング等参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡調整</li> <li>情報収集</li> </ul>

○ 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認  
 ○ 警戒態勢: [REDACTED]  
 ○ 群長指導事項  
 - (本日、ルメイサで実施する竣工式に関して) 地域の特性を考慮し、情報収集をしっかりと実施せよ。

○ 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認  
 ○ 警戒態勢: [REDACTED]  
 ○ 群長指導事項  
 - (本日のルメイサにおけるサドル派事務所付近において抗議行動等を受けたことに関して) [REDACTED]

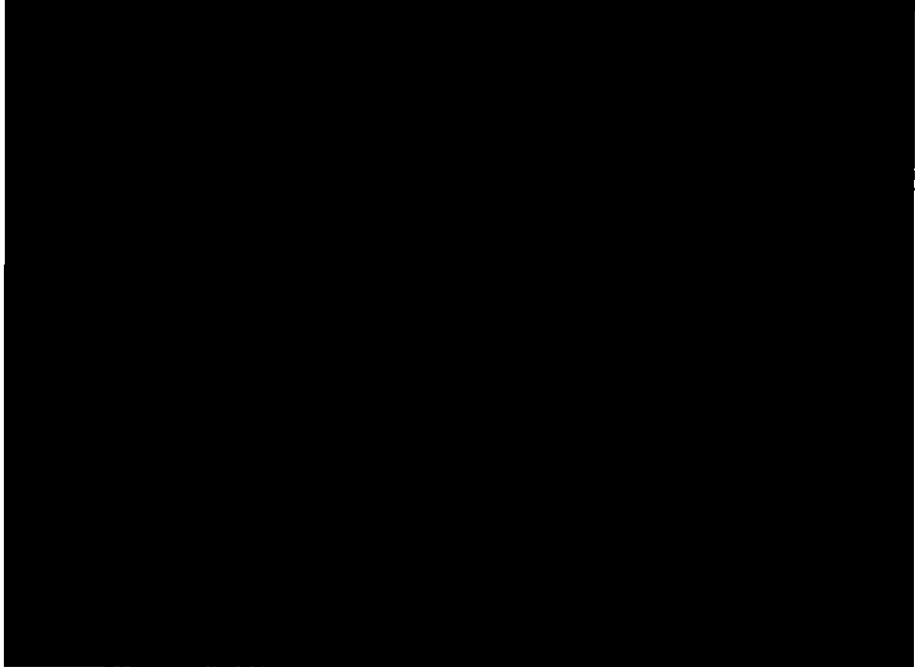
区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 [REDACTED] (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [REDACTED]、バグダッド及びモスルは [REDACTED]、ラマディは [REDACTED]
2 特記事項	[REDACTED]
3 本日の業務	情報収集及び情報資料の送付等
4 明日の予定	(1) 情報収集及び連絡調整 (2) 通信器材巡回点検要員のBIAPへの送り
5 その他(備考)	なし

バグダッド 日誌 (12月4日)

- **日本コンテナ訪問**
  - ・イラクの選挙まで後10日余りとなった。外国からイラク国内への訪問者はもとより、バグダッドからイラク国内各地へのヘリの運用も制限されている。こうした中、12月6日にコアリション事務所長(伊空軍准将)のサマーフ宿営地への初度視察が計画されていた。
  - ・ヘリ運用の制限等から、視察前日の今日になっても訪問用のヘリが確保できない。前回同様[ ]が色々調整をされたが、結局今日の昼前に視察延期を事務所長が決心された。ヘリが確保できたら連絡すると大佐に言われ待機するとともにサマーフにも、調整状況を連絡していた。
  - ・延期の決心の後、大佐の執務室に呼ばれた。すると、事務所長と大佐が並んで私に頭を下げ始めた。「ドタキャン」で申し訳ないと謝る二人、准将と大佐に謝られてとまどう私。「どうか気にしないでください。」と言うものの、英語で「気持ち」がうまく伝わっているのか不安になる。「次は〇〇日かどうか？」という大佐に「サマーフと調整します。」と答えた。大佐は「彼の隊長に直接お詫びして、次の訪問については私が再度依頼します。」と事務所長に提案した。事務所長は「是非そうしてくれ。」と同意され、大佐が我が日本コンテナに来てサマーフの隊長に電話することとなった。
  - ・今回の訪問調整でも、隊長はじめサマーフの皆様大変迷惑をかけたが、大佐から直接隊長に電話をしていただき、私としても少し「ホッ」としたのも本音でした。
- **7回目拝聴**
  - ・他国の基地訪問の調整がどうなっているのかは聞いたことがないが、今回の「ドタキャン」も彼らの責任ではなく、イラク選挙支援のためのヘリ運用を優先した結果であり、最後まで努力したが結局優先順位が劣ると言うのが理由である。にもかかわらず、ここまで「誠意」をもって対応していただいた事務所長と大佐には私の方が頭が下がる思いである。「人に迷惑をかけない。」という、日本人的な感覚をもったイタリア人と米国人もいることを思い知らされた。
  - ・電話の後、[ ]と「せんべい」をかじりながら少し話をした。突然大佐が歌を歌い出した。(何かな?)と思っていると、「この歌の曲名はなんだっけ?」と聞く、かの有名な「すきやきソング」(上を向いて歩こう)だった。日本のテレビを見ながら、しばらく日本の歌の話で盛り上がった。
  - ・最後に大佐の運転する車で事務所に戻り、事務所長に結果を報告した。隊長からの伝言として「〇〇日に予定している次回の計画が再延期になっても対応します。」と伝えた。事務所長も「ホッ」とした様子で「ありがとう。隊長によるしく伝えてくれ。」と言われた。私もとても「ホッ」とした。
  - ・二人で事務所長の執務室を出た後、(今日はないかな?)と思いつつもチャット期待しながらお礼と挨拶をした。大佐は私の期待通り、いつものポーズで「この時計はな・・・」と始まった。ありがたく7回目を拝聴しました。

バスラLO日々業務報告(12月4日1900)

区分	内容
1 警戒態勢	バスラ空港 [ ] [ ] (警戒態勢) : [ ]
2 特記事項	[ ]
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : [ ] (3) 定例会議への出席 : 司令即朝会議・夕会議、J2・J3・J9 認識統一会議 (4) 空路輸送調整
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議への出席 (3) 空路輸送調整
5 その他(備考)	



### バスラ日誌 (12月4日)

1 朝、師団司令部に向かって歩いていたら、バスラ国際空港ターミナルに真っ白な機体の民間航空機2機が駐機されているのが見えた。また、上空には、オレンジ色の模様の入った民間航空機が飛んでいるのが見えた。何か一気にイラクの平和と復興が目の前にやって来たような気持ちになった。 [REDACTED]

2 夕食は、英国人警察官と一緒に食べた。英陸軍少佐と同じような階級章を付けていたが、少佐と中佐の間くらいの階級であった。シャイバ兵站基地にいて、イラク警察官の訓練を担当してもう1年になるという。6週間イラクで勤務したら2週間の帰国を繰り返しているということで、これだとあまり苦にならないと言っていた。 [REDACTED]

スミッティLO日々業務報告(12月4日)	
区分	内容
1 警戒態勢等	変化なし Threat Level
2 特記事項	特になし。
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマーワ市内及び近郊の治安情報の収集、日本隊のCIMIC活動における住民の反応等 (2) 各種業務調整等 豪軍支援要請関連(サマーワ宿営地〜タリル)、日豪共同訓練関連、メモリースティック、トナー請求の件 (3) 各種ミーティング等 日豪共同訓練参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等 日豪共同訓練MM(サマーワ宿営地)
5 その他(備考)	・ 明日の英・豪軍等の射撃 Range1 0700-1600 英軍(小火器)

クウェート分遣班業務報告	
全般	
<input type="checkbox"/> 国内情勢等 <input type="checkbox"/> 人員・武器等異状なし <input type="checkbox"/> 人員報告:所属人員24名、事故人員3名(サマーワ研修)、現在員21名	<input type="checkbox"/> 天候:晴れ <input type="checkbox"/> 気温:7時:13.2°C11時:37.5°C (直射日光下の最高気温:38.1°C)
本日の行動	
恒常業務・その他	
<input type="checkbox"/> 郵便業務・乗務調整 <input type="checkbox"/> 資材輸送 <input type="checkbox"/> CFLCC調整	
明日の予定	
恒常業務・その他	
<input type="checkbox"/> 郵便業務 <input type="checkbox"/> CD施設研修 <input type="checkbox"/> 弾薬輸送準備	
その他(教訓・要望事項等)	

クウェートLO日々業務報告(12月4日1900)

区分	内 容	
警戒態勢等	警戒レベル 国内にテロ情報無し。重要施設、ホテルへの個別警戒強化指示 (1) 国家公安部、石油関連施設、大使館等重要防護施設防護部署及び国境警備隊等部署：警戒強化中 (2) 日本国外務省渡航安全情報（危険情報）：クウェート全土「十分注意」（N/C）	
特記事項	なし	
本日の業務	大使館	CFLCC
	(1) 連絡調整等 長官対応、その他別途報告 (2) 情報収集 新聞等 別途報告	(1) 連絡調整等 長官対応、その他別途報告 (2) 情報収集 別途報告
明日の予定	(1) 連絡調整等 (2) 情報収集	(1) 連絡調整等 (2) 情報収集
その他	なし	

サマーワ工業高校完成点検

別紙第1



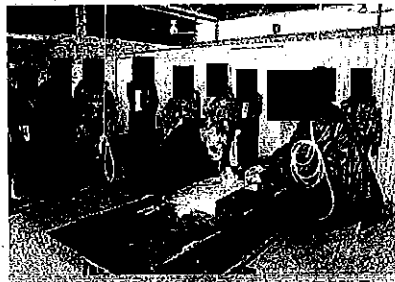
屋外の水道を点検する隊員



屋内工作室を点検する隊員



トイレの点検を行う隊員



工作実習の授業が行われる中、点検を行う隊員

アル・アメル・アル・ラジヤ養護施設竣工式



竣工式で挨拶を行う市長



竣工式で挨拶を行うフムラジヤ県知事



テープカットを行う竣工式参加者



竣工業者に修繕終了証書を手渡す市長